

# 第1問

A

問1 「レベッカはあなたに何をどのように頼んでいるか」 1

- ① 彼女の家から大学にコンピューターを持って来る。
- ② 彼女のプレゼンテーション用ファイルをダウンロードしてUSBに入れる。
- ③ 彼女が授業で行うプレゼンテーションを改善するのを手伝う。
- ④ 次の授業のためにあなたのコンピューターを彼女に貸す。

正解 ⇒ ④

最初のレベッカからのメッセージに、困っている内容と頼みたいことが書かれている。授業で発表（プレゼンテーション）をする予定であること、そのための資料はクラウドに保存してあるがパソコンを持っていない旨が書かれている。Can I以降の「あなたのを貸してもらえるかな？」というのが頼みごとなので、正解は④である。

## 【語句・表現】

- ・ put A on a USB 「AをUSBに入れる」
- ・ improve 「～を改善する」
- ・ let A (人) borrow B 「A (人) にBを借りさせる」: 「AにBを貸す」という意味。

問2 「あなたはレベッカの二つ目のメッセージにどのように返信するか」 2

- ① ルームメイトに電話して、ドアの鍵を開けるように頼んでね。
- ② プレゼンテーションは絶対うまくいくと思うよ！
- ③ コンピューターを渡すためにどこで会えばいい？
- ④ 教授の（パソコン）を貸してもらえるか聞いてみたらどうかな。

正解 ⇒ ④

レベッカが「ルームメイトは、今日は夜まで戻って来ないと言っていた」と書いているので①は不適切。コンピューターが必要なことは変わりがなく、その問題を解決していない②と、「あなた」は「今帰宅途中」なので③も不適切である。したがって、コンピューターを誰かから借りることを提案している④が正解。

## 【語句・表現】

- ・ reply 「返信する、応える」: 名詞も同型で「返信、返事」の意味。
- ・ unlock 「～の鍵を開ける」
- ・ be sure that S V 「必ず～すると思う」: that節（名詞節）中は未来のことなので未来時制になる。
- ・ you should do 「～してみてもは？」: you had better do 「～した方がよい」という表現は、言われた側に断る余地がない強い忠告のときに用いるが、shouldはそれよりも弱い表現。

## 【全訳】

あなたの友人のレベッカがあなたに助けを求めるメッセージをソーシャルメディアで送ってきました。  
レベッカ 2023/9/25 午後12:08

どうしよう！ 次の授業でプレゼンテーションをするんだけど、今日大学にパソコン持って来るの忘

れたの。ファイルはクラウドに保存してあるから、そこからアクセスできるの。プレゼンテーションで使うコンピューターだけ必要なの。あなたのを貸してもらえない？

2023/9/25 午後12:14

ごめん、レベッカ。木曜日は美術の授業しかないから、私も持って来てない。でも、今帰宅途中。だから、あなたの家に行ってパソコン取って来てあげようか？

レベッカ

2023/9/25 午後12:21

すごくありがたいんだけど、今は誰も家にいないんだ。ルームメイトは、今日は夜まで戻って来ないって言ってた。どうしたらいいと思う？

### 【語句・表現】

- ・ be in trouble 「困っている」
- ・ forget to do 「～するのを忘れる」
- ・ have A saved 「Aを保存しておく（してある）」：「have / keep A done」の構文。
- ・ the cloud 「クラウド」：この意味で使うときはふつう the を付ける。
- ・ not ~ either 「(否定文で) ~もない」
- ・ on one's way home 「帰宅途中で」
- ・ though 「でも」
- ・ appreciate 「～に感謝する」

## B

問1 「あなたはエッセーを  までに提出しなければならない」

- ① 4月1日
- ② 4月29日
- ③ 4月30日
- ④ 5月7日

正解 ⇒ ①

「規定」の三つ目に「エッセーの提出期限は4月1日土曜日」と記述されているため、①が正解である。それ以外は、「日程」に記載されているエッセーを提出した後の日程なので、全て不適切。

### 【語句・表現】

- ・ submit 「～を提出する」
- ・ by 「～までに」：「期限」を表す。

問2 「このコンテストに参加するために、 必要がある」

- ① 18歳より年上である
- ② ニューヨーク市外に住んでいる
- ③ 訪れたことのない場所について書く
- ④ 1000語より多く書く

正解 ⇒ ②

「規定」の二つ目に「ニューヨーク市の居住者ではないこと」と記述されているため、②が正解である。同じく一つ目の項目で「18歳以下の学生」という条件があるため①は誤り。エッセーの内容は、ニューヨーク市で「あなたが経験したことについて」なので③、Instructionsの二つ目に「500～1000語でエッセーを書く」とあるので④も不適切である。

**【語句・表現】**

・ enter 「～に入る・参加する」

問3 「1位に入賞することによってのみ得られるものはどれか」 5

- ① 食費の全額支給
- ② 人気スポットへの無料入場
- ③ ニューヨーク市までの旅行代金
- ④ 2泊分のホテル宿泊

正解 ⇒ ④

「賞品」の項目を見比べると、順位に応じて賞品が減っていることがわかる。1位と2位の賞品を比べると、違いは宿泊の日数とミュージカルのチケットの有無であるため、④が正解。①は1位と2位、②、③は1～3位全ての賞品になっているため不適切である。

**【語句・表現】**

- ・ by *doing* 「～することによって」: 「手段」を表す。
- ・ win the 1st prize 「1位に入賞する・優勝する」
- ・ meal 「食事」
- ・ expense 「費用」
- ・ entry 「入場」
- ・ site 「場所」
- ・ paid 「支払われた」: 主催者側から「支払われた」ということなので、「無料の」を意味する。
- ・ stay 「滞在」

**【全訳】**

あなたはニューヨーク市に関するウェブサイトを見て、学生のためのエッセーコンテストについてのお知らせを見つけます。そのコンテストに参加することを考えています。

<b>エッセーコンテスト</b> ニューヨーク市での素敵な思い出を紹介しよう
この素晴らしい街であなたが経験したことについてお聞かせください！ ニューヨーク市 (NYC) で過ごした最高の思い出を共有して、より多くの人がこの街に来るお手伝いをしてください。題材は、訪れた場所、食べた物、あるいは出会った人々についてでも構いません。
<b>手順</b>
● ニューヨーク市旅行の一番良かったことについて考えてください。 ● その経験について500～1000語でエッセーを書いてください。 ● 次のメールアドレスにエッセーを送信してください： <a href="mailto:entry@nycessaycontest.com">entry@nycessaycontest.com</a>

規定		
<ul style="list-style-type: none"> <li>●18歳以下の学生のみ参加可能です。</li> <li>●ニューヨーク市の居住者ではないこと。</li> <li>●エッセーの提出期限は4月1日土曜日です。</li> </ul>		
賞品		
1位	2位	3位
ニューヨーク市へ4人分の旅費 ホテル無料宿泊2泊 食費全額支給 ミュージカルのチケット 人気スポットへの無料入場	ニューヨーク市へ4人分の旅費 ホテル無料宿泊1泊 食費全額支給 人気スポットへの無料入場	ニューヨーク市へ4人分の旅費 ホテル無料宿泊1泊 人気スポットへの無料入場
日程		
4月29日	審査員とニューヨーク市長によって入賞者3名が選出されます！	
4月30日	入賞者はこのウェブサイトに掲載され、メールでもご連絡いたします。	
5月7日	入賞した方は、この日までに賞品を受け取るためにメールで返信してください。その後、ご本人とご家族の旅行日程を調整いたします。	

#### 【語句・表現】

- ・ announcement 「お知らせ」
- ・ introduce 「～を紹介する」
- ・ favorite 「お気に入りの、素敵な」
- ・ attract 「～を引き付ける」
- ・ share 「～を共有する」
- ・ the places you visited 「あなたが訪れた場所」：you visited は関係代名詞節。その後続く、食べ物や人々に関する箇所も同様。目的格の関係代名詞が省略されている。
- ・ instruction 「手順」
- ・ following 「次（後）に続く」
- ・ up to ～ 「～まで」
- ・ resident 「住民」
- ・ no later than ～ 「～より前に」
- ・ entry 「入場」
- ・ judge 「審査員」
- ・ mayor 「市長」
- ・ contact 「～に連絡を取る」

## 第2問

A

問1 「新規の交換留学生として、あなたは申請をしない限り  住まなければならない」

- ① 1人で
- ② ルームメイトと

- ③ 2人の学生と
- ④ 4人の学生と

正解⇒②

「住居の手配」に「事前に1人部屋を申請しない限り、新規居住者はルームメイトとの2人部屋に割り当てられる」とあるため、②が正解である。① by *oneself* は「1人で」という意味。③は two other 「他の2人」とあるので合計3人、④は four other 「他の4人」とあり、合計5人で住むことになるので、①、③、④はいずれも誤り。

【語句・表現】

- ・ exchange student 「(交換) 留学生」
- ・ unless S V 「～しない限り」

問2 「ライリーホールには、バスルームが  カ所ある」

- ① 4
- ② 6
- ③ 7
- ④ 8

正解⇒③

「設備」に「バスルームは学生の居室がある階の廊下の両端と、1階の共用ルームの向かいに一つある」とある。学生の居室である2階、3階、4階の両端の計6カ所と1階の1カ所にバスルームがあることになり、全部で7カ所のため、③が正解である。

【語句・表現】

- ・ bathroom 「トイレ、バスルーム」
- ・ location 「場所」

問3 「あなたはライリーホールの2階に住んでいる。洗濯するために  必要がある」

- ① 1階降りる
- ② 2階降りる
- ③ 1階上がる
- ④ 2階上がる

正解⇒②

「住居の手配」に「学生の居室は1階の上階である2階、3階、4階にある」という記載から、地上階を the ground floor (1階) とし、その上を the first floor (2階に当たる)、the second floor (3階に当たる) と数えていることがわかる。これはイギリス特有の表現であるが、この知識がなくても、フロアの数え方が異なることがリーフレットから読み取れるだろう。「あなた」は日本やアメリカで言う「2階」に住んでいることになり、洗濯をするために地下に行くにはフロアを2つ降りなければならない。したがって②が正解。

【語句・表現】

- ・ the first floor 「(イギリスの) 1階」: 日本やアメリカの2階。

問4 「自分で料理をするために台所を使うのに最も良い曜日と時間は  である」

- ① 日曜日の午前10時
- ② 月曜日の午後6時
- ③ 木曜日の午後9時
- ④ 土曜日の午後1時

正解 ⇒ ③

「平日は午後8時まで、週末は午後遅くまでキッチンが混雑している」とアルジュナがコメントしていることから、平日の午後8時より遅い時間である③が正解。①は週末の午前中のため不適切。②は平日の午後8時より前なので不適切。④は週末だが、午後の遅い時間ではないため不適切である。

**【語句・表現】**

・ *for oneself* 「自分で、独力で」

問5 「どの学生が、良い点と悪い点の両方についてコメントしているか」 10

- A: アルジュナ
- B: ベン
- C: フランシスコ
- D: キャサリン
- E: マーカス
- F: テオ

- ① A と C
- ② B と E
- ③ C と F
- ④ D と F

正解 ⇒ ③

居住者である学生たちのコメント内容を見ると、フランシスコは「自分の部屋では問題なく勉強できる」が、「共用エリアでは集中できない」と記し、テオは「今学期のスペイン料理パーティーはとても楽しかった」が、そのような「イベントが十分に計画されていない」と記している。この2人だけが良い点と悪い点の両方についてコメントしているので、③が正解である。マーカスとベンが良い点についてだけ、アルジュナとキャサリンは悪い点についてだけコメントしている。

**【語句・表現】**

- ・ *give a comment* 「コメントする」
- ・ *positive* 「良い、ポジティブな、プラスの」
- ・ *negative* 「悪い、ネガティブな、マイナスの」

**【全訳】**

あなたは、交換留学プログラムに参加するために、来週イギリスへ出発します。そこにいる間住むことになる建物についての情報を読んでいます。

ライリーホール  
ポーター大学の留学生および交換プログラムの学生のための住居

### 共用エリア

1階のこの広いスペースには、ソファ、椅子、テーブル、テレビが設置されています。よくここに学生が集まって、宿題をしたり、サッカーを見たりします。文化交流イベントも、ここで毎年数回開催されます。

### 住居の手配

学生の居室は1階の上階である2階、3階、4階にあります。事前に1人部屋を申請しない限り、新規居住者はルームメイトと2人部屋に割り当てられます。また、3階と4階には、前学期中にグループとして申請すれば3～5人の学生で居住できる、複数の部屋がまとまったスイートがあります。

### 設備

バスルーム（トイレ）は学生の居室がある階の廊下の両端と、1階の共用ルームの向かいに一つあります。1階以外のバスルームにはシャワーが付いています。居住者は地下にある洗濯機を使用できます。地下を除く各フロアに共用キッチンもあり、冷蔵庫、コンロ、電子レンジ、シンクが設置されています。

### 現在の居住者のコメント

- 「ライリーホールでの生活を通じて他国の学生や文化を知ることができるのは素晴らしい経験です！」——マーカス
- 「平日は午後8時まで、週末は午後遅くまでキッチンが混雑しているので、通常は大学の食堂で食事をしなければなりません」——アルジュナ
- 「自分の部屋では問題なく勉強できますが、共用エリアではたいてい誰かがテレビを見ているので、集中するのはとても難しいです」——フランシスコ
- 「最初は共用バスルームというのが嫌だと思いましたが、とても清潔に保たれているので気になりませんでした」——ベン
- 「今学期のスペイン料理パーティーはとても楽しかったです。他の居住者に会えるようなイベントが十分に計画されていません」——テオ
- 「エレベーターがないので、地下室から4階の自分の部屋に洗濯物を運ぶのは最悪です」——キャサリン

### 【語句・表現】

- ・ programme 「プログラム」：イギリス式のつづり。アメリカ式では program とつづる。
- ・ residence 「家、住宅」
- ・ common 「共用の」
- ・ ground floor 「1階」
- ・ as well as ～ 「～も、～同様」
- ・ gather 「集まる」
- ・ assignment 「課題、宿題」
- ・ cultural exchange 「文化交流」
- ・ event 「出来事、イベント」
- ・ organise 「～を手配する」：イギリス式のつづり。アメリカ式では organize とつづる。
- ・ hold 「～を開く」
- ・ each year 「毎年」
- ・ arrangement 「手配、準備」
- ・ in advance 「前もって」
- ・ be assigned to ～ 「～に割り当てられる」
- ・ in addition 「さらに」
- ・ suite 「スイートルーム」：数部屋続きの広い部屋のこと。
- ・ apply 「申請する、申し込む」

- ・ previous 「前の, 以前の」
- ・ term 「学期」
- ・ facility 「設備」
- ・ end 「端」
- ・ hallway 「廊下」
- ・ (be) located 「位置する」
- ・ across from ～ 「～の向かいに」
- ・ except for ～ 「～を除いて」
- ・ be equipped with ～ 「～を備えている」
- ・ resident 「居住者」
- ・ basement 「地下」
- ・ shared 「共用の」
- ・ available 「利用できる」
- ・ include 「～を含む」
- ・ refrigerator 「冷蔵庫」
- ・ stove 「ガスコンロ, 調理用コンロ」
- ・ microwave 「電子レンジ」
- ・ current 「現在の」
- ・ get to do 「～できる, ～するようになる」
- ・ crowded 「混み合った, 満員の」
- ・ cafeteria 「カフェテリア, 食堂」
- ・ focus 「集中する」
- ・ quite 「とても」

## B

問1 「ユウゴによると,  に慣れるのは難しくなかった」

- ① イギリスの食事
- ② 学校の授業
- ③ イギリスの公共交通機関
- ④ イギリス英語の語彙理解

正解 ⇒ ①

ユウゴのメールの第1段落に「食事には簡単になじめた」が、「イギリス英語特有の単語や公共交通機関」に慣れないとあるので、①が正解、③、④は「まだよくわからない」と書かれているので誤り。②については、学校の授業は「最大の違い」と書かれているだけなので不適切。

### 【語句・表現】

- ・ according to ～ 「～によると」
- ・ adjust to ～ 「～に慣れる・適応する」
- ・ public transport 「公共交通機関」
- ・ vocabulary 「語彙, 単語」

問2 「ユウゴのメールで事実として述べられたことは, イギリスでは,  ということである」

- ① 授業が学生にとってより難しい



- ② 彼は授業で自分の意見を述べることを求められた
- ③ 学生たちは難なく意見を述べる
- ④ 教師はあまり重要な役割を持っていない

正解 ⇒ ②

授業については、ユウゴのメールの第2段落で言及されており、第3文で「どう思うかを突然聞かれた」ことが記述されている。したがって②が正解である。学生たちにとって「意見やその理由を話すのはとても簡単で自然なことみたいだった」と書かれているが、これはユウゴのクラスの学生たちについての感想であるため③は不適切。「授業のスタイル」が違っていると書かれているだけで、①と④については記述がないため不適切である。

#### 【語句・表現】

- ・ state 「～と述べる」
- ・ give one's opinions 「～の意見を言う」
- ・ have no trouble *doing* 「問題なく～する」
- ・ have a role 「役割がある」

問3 「ユウゴは、学校での経験で 13 と思っている」

- ① 自分の考えに確信が持てるようになった
- ② 公の場で発言する能力が改善した
- ③ 他の学生をうらやましがらせた
- ④ 読書をするよりはより興味深いと知った

正解 ⇒ ①

ユウゴのメールの最終文「説明をしなければならないことで、自分の考えや知識に自信が持てるようになった」という記述から、①が正解。②, ③, ④はメールで言及されておらず、全て不適切。

#### 【語句・表現】

- ・ feel sure 「確信する」
- ・ thought 「考え」
- ・ improve 「～を改善する」
- ・ public speaking 「人前で話すこと (の)」
- ・ ability 「能力」
- ・ make A B (形容詞) 「AをBにする」
- ・ jealous of ~ 「～がうらやましい」

問4 「ヨナのメールから、彼女は 14 ということがわかる」

- ① 人と話すのを気楽に感じている
- ② 他の国に行ったことがない
- ③ イギリスの授業は退屈だと思っている
- ④ 来年、留学するつもりである

正解 ⇒ ④

ヨナのメールの最終文「自分も来年同じような体験をしたいなあ」から、④が正解である。「私は大人数だととてもシャイになってしまう」から、①は誤り。②は言及されておらず不明なため不適切。「授業は本当に面白そう」と書かれているため③も誤りである。

**【語句・表現】**

- ・ feel comfortable 「気楽に感じる」
- ・ sound 「～のように聞こえる」
- ・ boring 「退屈な」
- ・ study abroad 「留学する」

問5 「ヨナ意見を最もよくまとめたものはどれか」 15

- ① 議論することは学生よりも大人にとってより価値がある。
- ② 他人が考えていることを理解するのは不可能である。
- ③ 学生にとって、事実を覚えることは最も重要なスキルである。
- ④ 意見を共有するスキルは現代の世界において大変価値がある。

正解 ⇒ ④

ヨナのメールの第1段落最終文の However から後ろに「自分の信念や意見を伝える能力はグローバル社会においてより必要とされるスキル」と書かれているので、④が正解である。①、②はメールで言及されていないので不適切。「事実や情報をインプットすることは重要。でも、…」と続くので、③も不適切である。

**【語句・表現】**

- ・ summarise 「まとめる」：イギリス式のつづり。アメリカ式では summarize とつづる。
- ・ valuable 「価値がある」
- ・ share 「～を共有する」

**【全訳】**

あなたの友人がイギリスの学校に留学して数カ月たちました。彼が、自分の異文化体験について別の友人と話し合ったメールでのやりとりをあなたに見せています。

宛先: カン ヨナ

2022/12/20 午後12:14

差出人: タカハシ ユウゴ

件名: イギリスでの体験

ヨナへ

メールを書くのが遅くなってごめん。勉強もだけど、いろいろなことを学ぶのに忙しくて。イギリスでの生活はすごく違うから、順応するのに時間がかかったことがあってね。食事には簡単になじめたけど、3カ月たった今でも、イギリス英語特有の単語や公共交通機関の使い方がまだよくわからないよ。

でも、最大の違いは学校の授業のスタイルだ。ものすごくたくさん議論が交わされ、先生たちもよく意見を求めてくる。初めて先生から今読んでいる本についてどう思うか突然聞かれた時は、びっくりした。何を言ったらいいかわからなかった。他の学生が話すのを聞いたけど、彼らにとっては、意見やその理由を話すのはとても簡単で自然なことみたいだった。それ以来、自分ももっとそんなふうになれるように努力している。説明をしなければならぬことで、自分の考えや知識に自信が持てるようになったよ。

ではまた。  
ユウゴ

宛先: タカハシ ユウゴ  
差出人: カン ヨナ  
件名: Re: イギリスでの体験

2022/12/21 午後7:05

ユウゴへ

連絡くれてうれしいよ。イギリスで素晴らしい時間を過ごしているみたいだね。授業は本当に面白そう。私は大人数だととてもシャイになってしまうから、そういう経験は貴重だと思う。他の人と話し合うことで、自分自身についてもたくさんのがわかるね。学生として、事実や情報をインプットすることは重要。でも、自分の信念や意見を伝える能力はグローバル社会においてより必要とされるスキルだね。

経験を共有してくれてありがとう。私も来年同じような体験をしたいなあ！ また連絡ください！

それでは。  
ヨナ

### 【語句・表現】

- ・ another 「別の」
  - ・ conversation 「会話, 対話」
- 〈ユウゴのメール〉
- ・ write to ~ 「~に手紙・メールを書く」
  - ・ be busy with ~ 「~で忙しい」
  - ・ work 「作用する」
  - ・ it takes A(人) a while to do 「A(人)が~するのに時間がかかる」
  - ・ adapt to ~ 「~に慣れる・順応する」
  - ・ ask for ~ 「~を求める」
  - ・ The first time S V 「初めて~する時」
  - ・ since then 「それ以来」
  - ・ work hard 「懸命に努力する」
  - ・ confident 「自信がある」
  - ・ Best, 「よろしく, それではまた」: 文末に使用される決まり文句である Best regards, の簡易表現。
- 〈ヨナのメール〉
- ・ hear from ~ 「~から連絡をもらう」
  - ・ It sounds like S V 「~であるようだ」
  - ・ shy 「シャイな, 恥ずかしがり屋の」
  - ・ ability to do 「~する能力」
  - ・ express 「~を表現する」
  - ・ belief 「信念, 考え」
  - ・ global 「グローバルな, 国際的な」
  - ・ Regards, 「よろしく, それではまた」: Best, Best regards, と同意。

## 第3問

A

問1 「ヘンリーのブログから、彼が 16 ことが読み取れた」

- ① 家族に何か買った
- ② 食べたもの全てを気に入った
- ③ インドの伝統舞踊を習った
- ④ 観覧車に乗った

正解 ⇒ ①

Finally から始まる第3段落で、ラドゥーが気に入り「家族への土産に買い足した」とあるので①が正解である。同じ段落で、サモサは「ちょっと辛過ぎた」と書いてあるため②は不適切。インド舞踊は見ただけなので③も不適切。観覧車は「長蛇の列でなかったら乗っていたのに！」と仮定法過去完了で書いてあり、乗らなかったことがわかるので④も不適切。

### 【語句・表現】

- ・ read that S V 「～（ということ）を読んで知る」
- ・ traditional 「伝統的な」
- ・ ride on ～ 「～に乗る」
- ・ Ferris wheel 「観覧車」：Ferris と表記するのが一般的だが、全て小文字でも可。

問2 「ダンドゥに近づいた時、ヘンリーはおそらく 17 だろう」

- ① がっかりした
- ② 怖かった
- ③ 驚いた
- ④ 気分を害した

正解 ⇒ ③

「ダンドゥは私の身長のおよそ3倍も背が高いこともわかった」という記述から、③が正解である。「目の前で面白い動きをしたのを見て笑った」のだから①、②は不適切。④の upset は「動揺する、イライラする」などの「気持ちが落ち着かない感情」全般を意味するので、④も不適切である。

### 【語句・表現】

- ・ likely 「おそらく」
- ・ get close to ～ 「～に近づく」
- ・ puppet 「操り人形」

### 【全訳】

あなたはイギリスで開催される祭りに興味を持っています。若いイギリス人のブロガーの投稿を読んでいるところです。

ヘンリー・ミルズ  
11月18日 土曜日 午後9:00

光の祭典、ディワリは、毎年10月から11月の間のある時期に行われるインドの宗教的な祝典だ。昨夜、インド国外で行われるディワリ祭の中でも最大のものの一つであるレスター市のディワリ祭に行った。祭りの最後の夜だったので、盛り上がっていた。空を照らす華やかな花火から始まった。Wheel of Light（光の輪）と呼ばれる大きな観覧車もあった。白いライトでライトアップされてきれいだった。長蛇の列でなかったら乗っていたのに！

歩き回って、パフォーマンスも楽しんだ。まず、色とりどりの衣装を着た男女が伝統的なインド舞踊をしているのを見た。音楽は活気があり、エネルギッシュで、ダンサーたちはリズムに合わせて優美に動いた。また、ダンドゥという名前の巨大な機械仕掛けの人形が群衆の中を歩いているのを見た。それは一見人間のようだったが、とても明るく光っていたので、遠くからこちらに来るのが見えた。近くに来た時に、ようやくそれを動かしている男性が見えた。そして、ダンドゥは私の3倍も背が高いこともわかった！目の前で面白い動きをしたのを見て笑った。

最後に、屋台をいくつか訪れ、少しいろいろ食べてみた。サモサを食べたが、僕にはちょっと辛過ぎた。次にラドゥーを食べてみると、甘くておいしかった。とても気に入ったので、家族への土産に買足した。

インド文化に興味がある方は、ぜひ、レスターのディワリ祭に行ってみてください！今年のチラシの写真を載せたので、以下をご覧ください。

2023年 ディワリ祭  
イギリス レスター市  
11月12日(日) - 11月17日(金)

パフォーマンス

アクティビティー

食べ物

伝統舞踊

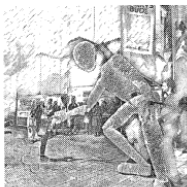


花火

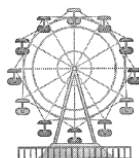


サモサ  
(揚げ物)  
(PIXTA)

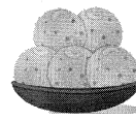
ダンドゥ



ホイール・オブ・ライト (観覧車)



ラドゥー  
(インド菓子)



【語句・表現】

- ・hold 「～を開催する」
  - ・blogger 「ブロガー、ブログを書く人」
  - ・post 「投稿」
- 〈第1段落〉
- ・religious 「宗教的な」

- ・celebration 「祝典」
- ・atmosphere 「雰囲気」
- ・full of ~ 「～でいっぱい」
- ・excitement 「興奮」
- ・start with ~ 「～から始まる・始める」
- ・brilliant 「素晴らしい」
- ・firework 「花火」
- ・display 「展示」
- ・light up ~ 「～を照らす」
- ・line 「列」

〈第2段落〉

- ・walk around 「歩き回る」
- ・get to do 「～する機会を得る」
- ・be dressed in ~ 「～を着ている」
- ・colourful 「色とりどりの」: イギリス式のつづり。アメリカ式では colorful とつづる。
- ・lively 「活気のある, 陽気な」
- ・energetic 「エネルギッシュな」
- ・to the rhythm 「リズムに合わせて」
- ・giant 「巨大な」
- ・mechanical 「機械式の」
- ・walk through ~ 「～の中を歩く, ~をかき分けて歩く」
- ・crowd 「集まり」
- ・glow 「光る」
- ・far away 「遠く」
- ・get close 「近づく」
- ・realise 「～だとわかる」: イギリス式のつづり。アメリカ式では realize とつづる。
- ・~ times taller than ... 「…より~倍背が高い」
- ・do ~ moves 「～な動きをする」

〈第3段落〉

- ・food stand 「屋台, 出店」
- ・a bit 「少し」
- ・spicy 「スパイスの効いた」
- ・delicious 「おいしい」

〈第4段落〉

- ・definitely 「絶対に, 必ず」
- ・check out ~ 「～を確認する・チェックする」
- ・flyer 「チラシ, パンフレット」

## B

問1 「次の①~④の出来事を起こった順に並べなさい」

18 → 19 → 20 → 21

- ① 地元の女性が筆者の手助けをした。
- ② 筆者はリムリックに到着した。
- ③ 筆者は長時間休憩しなければならなかった。
- ④ 筆者は興味深い観光地に行った。

正解 ⇒ ②→①→③→④

第1段落第2文の旅行の計画から、筆者はコーク→リムリック→ウォーターフォード→コークというルートをとることがわかる。雨の中コークからリムリックに到着し、第3段落で、「傘をさした女性が立ち止まって大丈夫かと尋ねて」きて、宿泊場所を教えてくれたことが記述されている。第4段落では、翌日、ウォーターフォードへと向かう旅行の終盤で左膝が痛くなり始めて「痛みが引くまで長めの休憩を取った」とある。最終段落に、「最終日は、自転車をこぎ出す前にウォーターフォードの観光地を見に行った」とある。したがって、正解は②→①→③→④である。

【語句・表現】

- ・ following 「次の、後に続く」
- ・ order 「順番」
- ・ local 「地域の、地元の」
- ・ break 「休憩」
- ・ sightseeing spot 「観光地」

問2 「筆者が思ったより遅くリムリックに到着した理由の一つは何だったか」 22

- ① 田園地帯を走っている間に道に迷った。
- ② 山に登るのに苦労した。
- ③ 雨のせいでゆっくりこがなければならなかった。
- ④ 道中で写真を撮るために立ち止まった。

正解 ⇒ ③

第2段落第7文に「道路が濡れていたため、下る時に速度を落とさなければならなかった」とあるので、③が正解である。①の記述はなく、②は同段落に丘が「山のように感じた」とあり、実際に山に登ったわけではないため、どちらも不適切。写真を撮ったのは最終日のウォーターフォードの観光地で、とあるので、④も不適切である。

【語句・表現】

- ・ get lost 「道に迷う」
- ・ countryside 「田舎、田園地帯」
- ・ along the way 「道中、道すがら」

問3 「この話から、筆者が 23 ということがわかった」

- ① どの街にも予定より遅れて到着した
- ② 悪天候対策の衣類を準備していた
- ③ こんなに大変な旅程を立てて後悔した
- ④ 次はコークの観光に行くだろう

正解 ⇒ ②

第2段落第2文に「レインジャケットを持って来ていた」とあるので、②が正解である。最終段落に、予定より早くコークに到着したことが記述されているため①は誤り。記事の最後に I felt great! とあるので、③も不適切。なお、④についての記述はない。

### 【語句・表現】

- ・ later than planned 「予定していたより遅く」
- ・ clothing 「衣服, 衣類」
- ・ regret *doing* 「～したことを後悔する」
- ・ go sightseeing 「観光に行く」

### 【全訳】

あなたはサイクリングに興味があり、サイクリング雑誌で興味深い記事を見つけました。

#### アイルランドの自転車旅

ジョン・ローレンス

コークの涼しく晴れた朝、私はアイルランド国内の自転車旅を開始することに心躍らせていた。道中たくさんの美しい景色を見ながら、リムリックへ行った後ウォーターフォードに行き、コークに戻るというルートを描画していた。最初の数時間は順調で、迷わずに田園地帯を進んだ。しかし、すぐに問題が生じた。

午後になると空は暗くなり、小雨が降り始めた。レインジャケットを持って来ていたが、雨を完全に防ぐには十分ではなかった。雨が激しくなるにつれて、身体が濡れて寒くなっていった。困難な状況ではあったが、暗くなり過ぎる前に街に到着しなければならないことはわかっていた。しかし、自転車をこぐにつれて、さらに困難になった。さっきまでとても美しく見えたアイルランドの丘は、上るにつれて山のように感じられた。そして、道路が濡れていたため、下る時に速度を落とさなければならなかった。その結果、到着が予定より3時間遅れた。

すぐに、私は滞在場所を探し始めた。自分はひどいありさまだったに違いない。傘をさした女性が立ち止まって大丈夫かと尋ねてきたからだ。彼女に宿を探していると話すと、おいしくて温かい食事ができるレストランがある地元のホテルに案内してくれた。一晩ぐっすり眠り、次の旅行の行程の準備が整った。

今回はウォーターフォードまでずっと晴天だったので、前日より景色を楽しむことができた。しかし、旅行の終盤、左膝が痛くなり始めた。すぐに痛みがひどくなり、完全に止まらなければならなかった。まだ午後3時30分で、目標地点まではそれほど離れていなかったため、痛みが引くまで長めの休憩を取ってから、最後の数キロをこいだ。予定より1時間遅れたが、夕食の時間までに到着した。

最終日は、自転車をこぎ出す前にウォーターフォードの観光地を見に行っただ。長さ15メートルを超える木製の剣が圧巻だった。息子たちに見せるためにその写真を何枚か撮った後、私は自転車に飛び乗ってコークに戻る旅を始めた。今回はトラブルもなく、思ったより早く旅行を終えた。ついに旅の出発地点に戻った。やり遂げたのだ。困難を乗り越え、アイルランド国内の3日間の自転車の旅を達成した。とても良い気分だった！

### 【語句・表現】

- ・ article 「記事」
- 〈第1段落〉
- ・ Ireland 「アイルランド」
  - ・ route 「ルート, 道のり」
  - ・ plenty of ~ 「たくさんの～」
  - ・ landscape 「景色, 見晴らし」
  - ・ smoothly 「順調に, スムーズに」
  - ・ make (good) progress 「はかどる」
- 〈第2段落〉
- ・ rain jacket 「レインジャケット, 雨具」
  - ・ completely 「完全に」
  - ・ despite 「～にもかかわらず」



- ・ make it (to ~) 「(～に) 到達する」
- ・ challenging 「困難な, やりがいのある」
- ・ feel like ~ 「～のように感じる」
- ・ pushed *one's* way up ~ 「～を (必死で) 上る」
- ・ reduce 「～を減少させる」
- ・ as a result 「結果として」

〈第3段落〉

- ・ right away 「すぐに」
- ・ search for ~ 「～を探す・捜す」
- ・ terrible 「ひどい」
- ・ guide A(人) to B 「A(人)をBに案内する」
- ・ meal 「食事」
- ・ ready for ~ 「～の準備ができて」

〈第4段落〉

- ・ clear 「晴れ渡った」
- ・ all the way to ~ 「～までずっと」
- ・ scenery 「風景, 景色」
- ・ previous 「前の」
- ・ towards the end of ~ 「～の終わりの方で」
- ・ knee 「膝」
- ・ hurt 「痛む」
- ・ painful 「痛い」
- ・ altogether 「完全に」
- ・ far from ~ 「～から遠くに」
- ・ take a rest 「休息を取る」
- ・ go away 「(苦痛などが) とれる」
- ・ behind schedule 「予定に遅れて」
- ・ in time for ~ 「～に間に合って」

〈第5段落〉

- ・ sight 「名所」
- ・ favourite 「お気に入り人・物」: イギリス式のつづり。アメリカ式では favorite とつづる。
- ・ sword 「剣」
- ・ (be) made of ~ 「～で作られた」
- ・ hop on ~ 「～に飛び乗る」
- ・ bike 「自転車」

## 第4問

問1 「ミゼンコ教授からの返信を受け取る前, ユウタロウは  か  へ留学することを考えていた」(順序は問わない)

- ① グルノーブル    ② リヨン    ③ ニース    ④ パリ

正解 ⇒ ②・③

ユウタロウの最初のメールに「自分が耳にした二つのコースはフランス語でのみ授業が提供される」と

いう記述がある。ミゼンコ教授の返信の第2段落第1文「本大学が今年提供を始めたプログラムが他に二つある」という記述と、教授が送ったプログラムの情報に合計四つの選択肢が記載されていることから、ユウタロウが考えていたのはリヨンとニースのプログラムということになり、②と③が正解である。

【語句・表現】

- ・ reply 「返事」
- ・ order 「順序」
- ・ matter 「問題である」

問2 「ユウタロウは、26 ので、理系のコースをフランス語で受講することが不安である」

- ① 速く話されると理解するのが難しい
- ② フランス語の理系の語彙が乏しい
- ③ 教授が彼の質問に英語で答えてくれない
- ④ 授業の課題により時間がかかってしまう

正解⇒④

ユウタロウの最初のメールに、フランス語は「理解はできるのですが、課題を終えるのに時間がかかり過ぎるのではないかと心配しています」と書かれているので、④が正解である。聞いて理解することについての不安ではないので、①は不適切。また、②の語彙についてや、③の教授の対応については述べられていない。

【語句・表現】

- ・ have trouble *doing* 「～するのに困難がある」
- ・ vocabulary 「語彙」
- ・ take A(人) time to *do* 「A(人)が～するのに時間がかかる」

問3 「ミゼンコ教授は 27 と提案している」

- ① ユウタロウがフランスでしかできないことに集中した方がいい
- ② ユウタロウにとってフランスで1年間留学するのが一番良い
- ③ フランスには興味深い理系のコースはほとんどない
- ④ フランスにいる間ユウタロウは理系の授業を一つも取るべきではない

正解⇒①

ミゼンコ教授のメール第1段落第1文に「留学するというのは、母国では体験できないことを体験すること」、第3文に「フランスにいることを最大限に活用することに集中してみても」とあることから、正解は①である。②は記述がないので不適切。同メールの第2段落でグルノーブルについても紹介しているが、「本大学では受講できないような理系のコースが必ず見つかる」とあるので、③も不適切。第1段落第2文に「もし、ある大学でそこでしか提供されない理系の授業があるなら、それを受講しましょう」とあるので、④も不適切。

【語句・表現】

- ・ it is better to *do* 「～した方がいい」
- ・ focus on ～ 「～に焦点を当てる・集中する」
- ・ while in ～ 「～にいる間」：whileの後に主語とbe動詞が省略されている。

問4 「ユウタロウはミゼンコ教授のアドバイスを **28** と思っている」

- ① わかりにくい
- ② 助けになる
- ③ 物足りない
- ④ 厄介だ

正解 ⇒ ②

ユウタロウの2通目のメール第1段落第2文に It gave me a lot to consider と表現されており、同メールの第3段落冒頭に「イギリスでできないことに集中するというアドバイスを頂いたことで決心ができました」とあることから、正解は②である。

問5 「ユウタロウがホストファミリーの家に滞在した場合、彼が選ぶプログラムの費用は総額いくらになるか」 **29**

- ① 1万800ポンド
- ② 1万1500ポンド
- ③ 1万2000ポンド
- ④ 2万7600ポンド

正解 ⇒ ③

ユウタロウの2通目のメールの第2段落にある「1年過ごしたいのですが、費用がかかり過ぎる」「3カ月では十分ではない」という記述から、期間は6カ月、さらに、第3段落第3文「理系の勉強は楽しいので、面白いと思う科目は履修できるようにしたい」という記述から、興味を引かれる理系のコースが見つかるグルノーブルを選択することがわかる。授業料は7200ポンド、ホームステイは1カ月800ポンドなので、 $7200 + 800 \times 6$  で合計1万2000ポンドになり、正解は③。

#### 【全訳】

あなたはイギリスの大学生で、フランスに留学しようと考えています。友人が、プログラムの選択について助言を得るためにアドバイザーとやりとりしたメールを、あなたに見せています。

ミゼンコ教授

来年、フランスに留学したいのですが、プログラムの選択に困っています。自分が耳にした二つのコースはフランス語でのみ授業が提供されます。専門である理系のコースを引き続き履修したいのですが、自分はフランス語がそれほど堪能ではありません。理解はできるのですが、課題を終えるのに時間がかかり過ぎるのではないかと心配しています。

また、フランスは芸術で名高いので、芸術についても学びたいと思っています。

どちらのプログラムが最適かご意見頂けますか。

どうぞよろしくお願いいたします。

スズキ ユウタロウ

ユウタロウ君

まず、理系の学習を続けたいと思うのは素晴らしいことですが、留学するというのは、母国では体験できないことを体験するということです。もし、その大学にしかない理系の授業があるなら、それを受講しましょう。そうでなければ、フランスにいることを最大限に活用することに集中してみてもいいかもしれません。フランス語の授業をもっと受けてみてはどうでしょうか。そうすれば、フランス語でもより容易に学べる芸術などのコースを受講することも可能でしょう。

これらの案に魅力がなければ、今年うちの大学で始まったプログラムが他に二つあります。一つは、パリでの1年間のプログラムです。英語とフランス語の両言語でコースを提供しているので、何でも興味のあるものを受講できるでしょう。もう一つはグルノーブルでの半年のプログラムです。パリのプログラムと同様に、英語でコースを受講することができ、この都市は科学研究で名高いです。本大学では受講できないような理系のコースが必ず見つかるでしょう。

更新されたプログラム案内を送ります。

それでは。  
マイケル・ミゼンコ

ミゼンコ教授

お返事ありがとうございます。教えていただいたことについていろいろと考え、自分がどうしたいかがわかってきたように思います。

フランスで1年過ごしたいのですが、費用がかかり過ぎます。しかし、教授からのメールを読み、今は、3カ月では十分でないと思っています。できるだけ文化を体験したいと思います。

イギリスでできないことに集中するというアドバイスを頂いたことで決心ができました。自分の主な目標は、フランス語を上達させ、芸術についてもっと学ぶことです。しかし、理系の勉強は楽しいので、やはり面白いと思う科目は履修できるようにしたいと思います。したがって、英語でもコースを提供している所を選択します。

あとは、住む所をどうするかということについて考えなければなりません。

今後ともよろしく願いいたします。  
スズキ ユウタロウ

プログラム情報：

**フランス グルノーブル**

グルノーブルは科学の研究の中心地として有名です。

コースにおける使用言語： 英語、フランス語	期間： 6カ月	費用： 7200ポンド
--------------------------	------------	----------------

<b>フランス リヨン</b> フランスで3番目に大きな都市で、芸術で有名ですが、食はさらに有名です。		
コースにおける使用言語： フランス語	期間： 3カ月	費用： 3600ポンド
<b>フランス ニース</b> ニースは、古典と現代のフランス文化が見事に融合した都市です。		
コースにおける使用言語： フランス語	期間： 6カ月	費用： 6700ポンド
<b>フランス パリ</b> フランスの首都で、最新のファッションと世界的に有名な芸術で知られています。		
コースにおける使用言語： 英語, フランス語	期間： 1年	費用： 1万8000ポンド
<b>住居</b>		
学生はホストファミリーと暮らすか、大学宿舎に住むことができます。以下に示された費用は月額です。 ホストファミリー：800ポンド 大学宿舎：600ポンド		

#### 【語句・表現】

- ・ **adviser** 「アドバイザー」：イギリス式のつづり。アメリカ式では **advisor** とつづる。
  - ・ **programme** 「計画, プログラム」：イギリス式のつづり。アメリカ式では **program** とつづる。
  - ・ **exchange** 「やりとり」
- 〈ユウタロウの1通目のメール〉
- ・ **hear about** ～ 「～について聞く (聞いて知っている)」
  - ・ **offer** 「～を提供する」
  - ・ **continue doing** 「継続して～する」
  - ・ **major** 「専攻」
  - ・ **not that good** 「それほどうまくない」
  - ・ **be famous for** ～ 「～で有名である」： = **be known for** ～。
  - ・ **Kind regards**, 「(どうぞ) よろしく願います」：文末に使用される決まり文句。 **Best regards**, とほぼ同じように用いられる。
- 〈ミゼンコ教授のメール〉
- ・ **study abroad** 「留学する」
  - ・ **unique** 「独特な, 唯一の」
  - ・ **otherwise** 「そうでなければ」
  - ・ **focus on** ～ 「～に集中する・焦点を当てる」
  - ・ **make the most of** ～ 「～を最大限に活用する」
  - ・ **Why not do?** 「～してみてもはどうですか」
  - ・ **try doing** 「(試しに) ～してみる」
  - ・ **half-year** 「半年の」
  - ・ **scientific** 「科学の」
  - ・ **be sure to do** 「必ず～する」
  - ・ **updated** 「更新された, アップデートされた」
- 〈ユウタロウの2通目のメール〉
- ・ **consider** 「～を考える」
  - ・ **would love to do** 「ぜひ～したい」

- ・ cost 「費用」: low / high などと共に用いられることが多い。
- ・ as much as possible 「できるだけ多く」
- ・ convince 「～を納得させる」
- ・ improve 「～を改善する」
- ・ therefore 「したがって」
- ・ housing 「住居」
- ・ option 「選択肢」

〈プログラム情報〉

- ・ recognise 「～がわかる, ～を認識する」: イギリス式のつづり。アメリカ式では recognize とつづる。
- ・ centre 「中心 (地)」: イギリス式のつづり。アメリカ式では center とつづる。
- ・ length 「長さ, 期間」
- ・ capital 「首都」
- ・ world-famous 「世界的に有名な」
- ・ per month 「1 カ月当たりの」

## 第5問

問1 「あなたの発表の最も適切な副題はどれか」 30

- ① 農民から成功した作家へ
- ② 風を使って村に電気をもたらした少年
- ③ マラウイで最初にウォーターポンプを作った人
- ④ 一度も学校で学んでいない独学の発明家

正解 ⇒ ②

本文の主人公は、独学で電気を生み出す風車を作ったウィリアム・カムクワンバという少年である（第1段落）。図書館で見つけた本を参考にして、手に入る部品を駆使して風車を作ることを試み（第2段落）、ついに小さな風車、次に大きな風車を完成させて、村に電力を供給した（第3段落）。これが彼の功績であり、正解は②。彼は本を出版したが、作家ではなくエンジニアなので①は不適切。第4段落にウォーターポンプについて記述があるが、この記事の主なテーマではないので③も不適切。④は第1段落で「学費の支払いをやめなければならなかった」という記述があり、学校に一度も行っていないわけではないので、これも不適切。

### 【語句・表現】

- ・ subtitle 「副題」
- ・ successful 「成功した」
- ・ author 「作家, 筆者」
- ・ power 「～に電力を供給する, ～を電力で動かす」
- ・ pump 「ポンプ」
- ・ self-taught 「独学の」
- ・ inventor 「発明家」

問2 「 31 と 32 に入る最も適切な選択肢を二つ選び幼少期を完成させなさい」 (順序は問わない)

- ① 科学と技術に興味を持った
- ② 裕福な両親のおかげで快適な生活を送った

- ③ 全ての授業が退屈だったので学校をやめた
- ④ 多くの時間を地元の図書館で読書をして過ごした
- ⑤ 家族が所有するトウモロコシとタバコの畑で働いた

正解 ⇒ ①・④

第1段落に、学校に行けなかったウィリアムは「家族の農場から離れて地元の図書館で過ごした」「科学技術に心を躍らせた」と記述があるので、正解は①と④である。農場で働いていたという記述はないので⑤は不適切。同じく第1段落で、彼の両親は農業を営んでおり、ウィリアムが学校に行けなかった理由として貧しくて学費が払えなくなったとあるので、②と③も誤り。

**【語句・表現】**

- ・ option 「選択肢」
- ・ complete 「～を完成させる」
- ・ childhood 「子ども時代, 幼少期」
- ・ comfortable 「快適な」
- ・ thanks to ～ 「～のおかげで」
- ・ wealthy 「裕福な」
- ・ quit 「～をやめる」
- ・ be bored with ～ 「～に退屈する」
- ・ tobacco 「タバコ」
- ・ field 「畑」

問3 「起こった順に五つの出来事から四つを選び重要な出来事の時系列を完成させなさい」

33 → 34 → 35 → 36

- ① ウィリアムの功績のニュースは世界に知れ渡った。
- ② ウィリアムは『エネルギーの利用』という教本を見つけた。
- ③ ウィリアムはスポンサーから資金の援助を受けた。
- ④ ウィリアムはゴミの中から部品を探した。
- ⑤ ウィリアムは子ども向けの科学の教本を書いた。

正解 ⇒ ② → ④ → ① → ③

第2段落より、ウィリアムは図書館で『エネルギーの利用』という教本を見つけ、村のゴミの中から使用できる部品を探し始めたことがわかる。第4段落から、大きい風車ができたというニュースが世界に知れ渡り、ウィリアムが講演に呼ばれたり、新聞記事に取り上げられたりしてスポンサーが殺到したという記述がある。したがって、②→④→①→③の順が正解となる。

**【語句・表現】**

- ・ in the order 「順番に」
- ・ happen 「起こる」
- ・ sequence 「時系列, 順序」
- ・ key 「重要な」
- ・ achievement 「功績, 業績」
- ・ spread 「広がる」
- ・ financial 「経済的な」
- ・ search for ～ 「～を探す」

・garbage 「ゴミ」

問4 「 37 」に入る最も適切な選択肢を選び性格を完成させなさい

- ① とても意志が固く、笑われた時でさえもあきらめなかった
- ② とても寛大で、子どもたちの教育を支援するためにお金を与えた
- ③ とても賢い少年で、何のヒントもなく自分で風車を作った
- ④ とても創造的で、これまで誰も見たことがないものを作った

正解⇒①

第2, 3段落に、地元の人々がウィリアムを笑い、頭がおかしいと言ったが、彼は決してあきらめなかったという記述があることから、正解は①である。②と④に関しては記述がないため不適切。③は、ウィリアムは本を見て風車を作ったので誤りである。

【語句・表現】

- ・character 「性格」
- ・determined 「意志の固い」
- ・give up 「やめる、あきらめる」
- ・laugh at ～ 「～を笑う」
- ・generous 「寛大な」
- ・clever 「利口な、賢い」
- ・windmill 「風車 (小屋)」

問5 「 38 」に入る最も適切な選択肢を選び功績と現在の取り組みを完成させなさい

- ① 学校で学び続けられるようにマラウイの子どもたちと共に闘っている
- ② 自身の人生についてNetflixの映画を製作した
- ③ 引き続き自分の地域にクリーンエネルギーを供給するために働いている
- ④ 彼のような発明家になるように若者たちを説得しようとしている

正解⇒③

最終段落に、自分のコミュニティだけでなく、他地域にもクリーンエネルギーを供給するプロジェクトに取り組み続けていると記述があるので、正解は③。①は、「子どもたちと共に」ではなく「子どもたちのために」闘っている、②は、映画はウィリアムが作ったものではない、④は、若い世代が発明家になることを促しているわけではないので、全て誤りである。

【語句・表現】

- ・current 「現在の」
- ・Netflix 「ネットフリックス」
- ・supply A with B 「AにBを供給する」
- ・community 「地域社会、コミュニティ」
- ・clean energy 「クリーンエネルギー (環境に優しいエネルギー)」
- ・convince A to do 「Aを～するように説得する」

【全訳】

あなたは、英語の授業であるエンジニアについての発表を行う予定です。以下の記事をオンラインで見



つけて、発表用のメモを準備しました。

2000年代初頭、アフリカの馬拉ウイ出身の少年が、村のために電気を生み出す機械を作って有名になった。彼の名前はウィリアム・カムクワンバ。1987年にマシタラの村で生まれたウィリアムは、両親と6人の姉妹と一緒にトウモロコシとタバコの農家で育った。2002年、彼がまだ14歳の時、彼の国でひどい飢餓をもたらした水不足が長く続いた。ウィリアムの両親は、わずかな食べ物を買うために、彼の1年間80ドルの学費の支払いをやめなければならないほどだった。空腹を抱え、教育も受けることができなかったウィリアムは、代わりに家族の農場から離れて地元の図書館で過ごした。彼は科学技術に心を躍らせ、図書館にあるそれらに関する本や雑誌を全て読んだ。

ある日、ウィリアムは『Using Energy (エネルギーの利用)』という教本を見つけた。本には風を使って電気を作る風車と呼ばれる機械の作り方が示されていた。このアイデアに触発されて、彼は村を助けるために風車を作ることを決意した。教本の英語の指示にできる限り従って、彼は村のゴミの山から、使用できる部品を探し始めた。しかし、地元の人々の多くが彼を笑い、頭がおかしいと言った。当時、馬拉ウイの農村部に住む人々のわずか1%しか電気を利用できなかった。彼らは、ウィリアムのような少年が電気を供給する機械を作ることができるとは想像できなかった。

しかし、ウィリアムは決してあきらめなかった。見つけた木材や自転車の部品などを使って、家の裏に小さな風車を作った。風車を古い車のバッテリーに接続して電気を蓄え、それは彼の家の四つの照明とラジオをつけるのに十分な電力量であった。その結果、ウィリアムは外が暗くなった後でも夜更かしして本を読むことができた。すぐに、彼は村全体に電気を供給できる、さらに大きい風車を作った。人々は驚き、喜んだ。彼らはウィリアムがある種の魔法を使っているに違いないと思った。

ウィリアムの大きい風車のニュースはすぐに広まり、彼は馬拉ウイと海外で有名になった。世界中の会議やイベントで講演するよう招待され、彼の話はいくつかの新聞記事にも載った。スポンサーが彼に資金を提供しようと殺到し、彼はその資金を使って風車を改良し、増えた電気で作るウォーターポンプを作るためにその資金を使った。これにより、彼の村に初めて飲料水がもたらされ、雨が降っていないときに農民が作物に水をやることができた。

有名になった後、ウィリアムはついに学校に戻ることができた。そして、2009年に彼は自身の経験について本を出版し、それは『ニューヨークタイムズ』紙のベストセラーになった。彼はアメリカのダートマス大学へ進学し、2014年に卒業した。5年後の2019年には、ウィリアムの物語がNetflixのヒット映画にもなった。

今日、彼は寛大な精神で名の知られるエンジニアであり、発明家だ。彼は、クリーンエネルギーやその他の技術を必要としている自分のコミュニティや他の地域の人々にそれらをもたらすためのプロジェクトに取り組み続けている。彼はまた、貧しい国の若者が教育と資源にアクセスできるように奮闘している。若い世代の人々が自らの興味に従い、世界にプラスの影響を与えることを促したいと思っている。

発表のためのノート：

- 
- 
- 
- 
- 
- 
- 
- 

ウィリアム・カムクワンバ

— 30 —

幼少期

— 1987年、馬拉ウイのマシタラで生まれた。

— 31

— 32

重要な出来事の時系列

○  
○  
○  
○  
○  
○  
○  
○  
○  
○

33  
34  
ウィリアムは最初の風車を作った。  
35  
36  
ウィリアムは村のためにウォーターポンプを作った。

性格

— ウィリアムは 37 だった。

功績と現在の取り組み

— 自らの経験についてベストセラー本を書いた。  
— 世界的な会議で講演するよう招待された。  
— 38 。

【語句・表現】

- ・ engineer 「エンジニア, 技術者」
  - ・ online 「オンライン (で)」
- 〈第1段落〉
- ・ the 2000s 「2000年代」
  - ・ early 「初頭」
  - ・ electricity 「電気」
  - ・ shortage of ~ 「~の不足」
  - ・ lead to ~ 「~になる」
  - ・ terrible 「ひどい」
  - ・ hunger 「飢え, 飢餓」
  - ・ yearly 「年間の」
  - ・ fee 「料金」
  - ・ so that S V 「~するために」
  - ・ a bit of ~ 「わずかな~」
  - ・ access to ~ 「~へのアクセス, ~を利用する手段・方法」
  - ・ instead 「代わりに」
  - ・ away from ~ 「~から離れて」
- 〈第2段落〉
- ・ construct 「~を組み立てる・建てる」
  - ・ inspire 「~を触発する」
  - ・ follow 「~に従う」
  - ・ instruction 「指示」
  - ・ as ~ as possible 「できる限り~」
  - ・ pile of ~ 「~の山」
  - ・ spare 「余った, 予備の」
  - ・ back then 「その当時」
  - ・ rural 「田舎の」
  - ・ imagine A *doing* 「Aが~しているのを想像する」: 知覚動詞の用法。
  - ・ provide A with B 「AにBを供給する」
- 〈第3段落〉
- ・ material 「材料」

- ・ connect A to B 「AをBにつなげる」
- ・ battery 「バッテリー」
- ・ store 「～を蓄える」
- ・ as a result 「その結果」
- ・ stay up *doing* 「～して起きている」
- ・ bring A to B 「AをBにもたらす」
- ・ entire 「全体の」
- ・ delighted 「喜んで」: delight 「～を喜ばせる」という他動詞の過去分詞。
- ・ some kind of ～ 「ある種の～」

〈第4段落〉

- ・ well known 「有名な」
- ・ invite 「～を招待する」
- ・ conference 「会議」
- ・ rush to *do* 「～しようと殺到する」
- ・ improve 「改良する」
- ・ increase 「～を増やす」
- ・ run 「動く」
- ・ for the first time 「初めて」
- ・ allow A (人) to *do* 「A (人) が～できるようにする」
- ・ water 「～に水をやる」
- ・ crop 「作物」

〈第5段落〉

- ・ publish 「～を出版する」
- ・ graduate 「卒業する」

〈第6段落〉

- ・ recognized 「一般に認められた, 名の知れた」
- ・ spirit 「精神」
- ・ fight for ～ 「～のために闘う」
- ・ resource 「資源」
- ・ generation 「世代」
- ・ have a ～ impact on ... 「…に～な影響を与える」
- ・ positive 「プラスの」

〈プレゼン用メモ〉

- ・ best-selling 「ベストセラーの」
- ・ global 「世界的な」

## 第6問

A

問1 「 39 に入る最適な選択肢を選びなさい」

- ① 地球上のほとんどの場所で見つけることができない
- ② 世界の南の地域出身である
- ③ 静かな場所よりも騒がしい場所を好む
- ④ ほとんどのことに左手を使う

正解⇒④

第1段落第3文に righties とは「右手を使うことを好む人」だとあり, compared to about 89% for “righties” と右利きの人と対比されている。よって, southpaw は「左利きの人」のことだとわかる。したがって正解は④である。south は「南」, paw は「人の手, 動物の前足」という意味で, 語源は諸説あるが, 現在は lefty 「左利き」の意味として用いられる。

【語句・表現】

・ prefer A to B 「B よりも A を好む」

問2 「 40 に入る最適な選択肢を選びなさい」

- ① 一つのこと集中するのが得意
- ② 反応が速い
- ③ 全てのスポーツがうまい
- ④ タスクをすぐに始める

正解⇒②

第3段落に, 脳の両側で情報を処理することに慣れていることから, 反応速度が速くなる, という主旨の記述があるので, 正解は②である。同段落の「一度に複数のことを行うのが得意」という内容から①は誤り。③は「テニスのようなスポーツはうまい」という記述があるが, 全てのスポーツではない。④も第4段落の内容と異なるため誤り。

【語句・表現】

・ be good at ~ 「～が得意である」  
・ focus on ~ 「～に集中する」  
・ reaction 「反応」  
・ task 「タスク」  
・ right away 「すぐに」

問3 「 41 に入る最適な選択肢を選びなさい」

- ① 新しいアイデアを考えるのが得意ではない
- ② 一度に複数のことをすると混乱する
- ③ 多くの右利き用の物を使わなければならない
- ④ 行動が早過ぎるのでよく間違いをする

正解⇒③

第2段落に, 左利きの高レベルのストレスを抱える理由の一つとして, 右利きの人用に作られたはさみや机を使うことが挙げられているので, ③が正解。①は同段落に「より創造的である可能性がある」とあること, ②は第3段落, ④は第4段落の内容とそれぞれ異なるため, 誤りである。

【語句・表現】

・ think of ~ 「～のことを考える」  
・ get confused 「混乱する」  
・ several 「いくつかの」

- ・ at once 「一度に」
- ・ deal with ～ 「～を扱う」
- ・ item 「アイテム, 商品」
- ・ righty 「右利きの人」

問4 「 と  に入る最適な選択肢を選びなさい」

- ① 賞賛されて
- ② 負けて
- ③ 慣れて
- ④ 喜んで
- ⑤ 成功して
- ⑥ 疲れて

正解 ⇒  ⑤  ③

第3段落に、テニスのようなスポーツに長けている理由として、「左利きの人が少ないため、ほとんどの右利きの人が左利きの人と試合をすることはめったにない」と記述されていることから、 に⑤ successful,  に③ familiar を入れ、「左利きの方は、右利きの方が彼らに慣れていないから、成功する (= 試合に勝つ) のかもしれない」という主旨の文を作る。

#### 【全訳】

あなたは人々の性格や能力に影響を与える要因についてのクラスプロジェクトに取り組んでいます。インターネットで調べていると、次のような記事を見つけました。この情報を用いてポスターを完成させなさい。

#### サウスポー（左利きの人）の特異性は何か

あなたは「サウスポー（左利き）」だろうか。おそらく「いいえ」と答えただろう。なぜなら、左利きの方が世界人口の10%しか占めていないのに対し、「右利き」、つまり右手で物事を行うことを好む人は約89%だからだ。科学者たちは長い間左利きの人に関心を持ってきた。左利きの人の特徴や能力について、右利きの人々と明確な違いがあるかどうかを知ることを目的として、多くの研究が行われてきた。これらの研究を通じて、より一般的な左利きの人の特徴が明らかになってきた。

1970年代に行われた調査によると、左利きの方は社交的な集まりを避ける傾向が強く、他の人と一緒にいるよりも一人で静かに過ごすことを好むことがわかった。彼らはまた、より高いレベルのストレスを抱えているようで、それはおそらく右利きの方のためにつくられた世界で生きている困難さから生じているのだろう。結局のところ、はさみから一部の学校で使用されている肘掛け付きの机まで、多くの物は左利きの人用に作られていなかった。しかしながら、このことによって、左利きの方は右利きの方よりも予期しない状況に適応する能力を向上させたかもしれない。左利きの方は、また、より創造的である可能性があり、いくつかの研究で、左利きの方が芸術、音楽、デザインなどに生まれながらの才能を持っていることが示された。これは、左手を制御する右脳が創造的思考を担っているからかもしれない。これにより、左利きの方は、物事をさまざまな観点で見ることが要求される問題解決タスクも得意としている。

さらに、左利きの方は、タスクを完了するために脳の両側で情報を処理することに慣れているため、一度に複数のことを行うのが得意かもしれない。これにより、反応速度も速くなる。これら二つの要素の組み合わせは、多くのスポーツやキーボード入力作業などのスピードが要求される作業では特に有効である。実際、左利きの方がテニスのようなスポーツに長けている可能性が高いことを示した研究もいくつかある。しかし、これは実際には技術が高い結果ではない可能性がある。左利きの方が少ないため、ほとんどの右利きの方が左利きの人と試合をすることはめったにないことが理由だと指摘

している専門家もいる。対戦するプレーヤーのほとんどが右利きであるために、このことが左利きの人を有利にしている、彼らは何をするべきかわかっているということになる。

最後に、左利きの人は物事を詳細まで考え、より慎重な人である傾向がある。右利きの人はしばしば迅速に決定を下して行動を起こすが、左利きの人はタスクを始めるのにより長い時間がかかる。彼らは全ての選択肢と、それぞれの長所と短所について考えることにより多くの時間をかける。これは、左利きの人が右利きの人よりも仕事を完遂するのに時間がかかる可能性があることを意味する。

これらは全ての左利きの人に当てはまるか。もちろん当てはまらない。研究者たちは、これらの特徴が左利きの人により多く見られることを発見したにすぎない。ここで言及されていない他の特徴についても研究されている。結局のところ、全ての個人は異なり、日常生活で最も使用する利き手だけでは完全に理解できないと覚えておくことが重要なのである。

ポスター:

## サウスポーの特異性は何か

### サウスポーって何？

サウスポーとは  人のこと。

### 興味深い詳細な情報

- 左利きの人は世界人口のわずか10%である。
- 左利きの人には共通した特性が見られることが研究でわかっている。

### 左利きの人の一般的な特徴

長所	短所
<ul style="list-style-type: none"><li>● 新しい物事によりうまく順応できる</li><li>● <input type="text" value="40"/></li><li>● 行動を起こすまで慎重である</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>● 社交的なイベントが好きではない</li><li>● 作業を終えるのにより長い時間がかかる</li><li>● <input type="text" value="41"/></li></ul>

### さらなる研究が必要な理由

- スポーツにおいて、左利きの人は、より良い技術を持っているからではなく、右利きの人が彼らと対戦するのに  いないから  しまうのかもしれない。
- 他の特性はまだ研究中であるため、それらが左利きの人の中でより一般的であるかどうかはまだわからない。

### 【語句・表現】

- ・ work on ~ 「～に取り組む」
  - ・ factor 「要因」
  - ・ affect 「～に影響を与える」
  - ・ personality 「性格、人格」
  - ・ ability 「能力」
- 〈第1段落〉
- ・ southpaw 「左利きの人」

- ・ (The) chances are (that) S V 「～の可能性がある, ～の見込みだ」
- ・ make up ～ 「～を占める・成す」
- ・ compared to ～ 「～と比べて」
- ・ those who *do* 「～する人たち」
- ・ conduct 「～を実施する」
- ・ characteristic 「特徴」
- ・ with the goal of ～ 「～を目的に」
- ・ distinct 「明確な, 際立った」
- ・ feature 「特徴」
- ・ common 「一般的な」

〈第2段落〉

- ・ the 1970s 「1970年代」
- ・ be likely to *do* 「～する可能性が高い」
- ・ avoid 「～を避ける」
- ・ social gathering 「社交的な集まり, 親睦会」
- ・ due to ～ 「～のせいで」
- ・ challenge 「困難, 難問」
- ・ designed for ～ 「～のために作られた」
- ・ after all 「結局」
- ・ scissors 「はさみ」
- ・ arm supports 「肘掛け」
- ・ adapt 「～に慣れる・適応する」
- ・ unexpected 「予期しない」
- ・ natural 「生まれながらの」
- ・ talent 「才能・適性」
- ・ be responsible for ～ 「～を担う」
- ・ problem-solving task 「問題解決タスク」

〈第3段落〉

- ・ in addition 「さらに」
- ・ at a time 「一度に」
- ・ be used to *doing* 「～に慣れている」
- ・ process information 「情報を処理する」
- ・ combine 「～を組み合わせる」
- ・ especially 「特に」
- ・ expert 「専門家」
- ・ point out ～ 「～を指摘する」
- ・ rarely 「めったに～ない」
- ・ get to *do* 「～する機会を得る」
- ・ play (matches) against ～ 「～と (試合で) 戦う」
- ・ advantage 「利点」

〈第4段落〉

- ・ tend to *do* 「～する傾向がある」
- ・ in detail 「詳細に」
- ・ make decisions 「決定する」
- ・ take action 「動く, 動き出す」
- ・ get started 「始める」
- ・ strength 「長所」
- ・ weakness 「短所」

・ get a job done 「仕事を完了する」

〈第5段落〉

- ・ true of ~ 「～に当てはまる」
- ・ definitely not 「まさか、絶対に違う」
- ・ mention 「～について言及する」
- ・ test 「～を試験する・調べる」
- ・ in the end 「最後に」
- ・ individual 「個人」
- ・ unique 「独特の、異なる」
- ・ fully 「完全に」

〈ポスター〉

- ・ in common 「共通した、共通して」
- ・ dislike 「～が好きではない」

## B

問1 「あなたは、記事で『ネットいじめ』という言葉を見て、ノートに意味を書き留めたいと思う。次のうちどれが最も適切か」 44

- ① 若者の間で人気のあるコミュニケーションの形態。
- ② 人を不安や悲しい気持ちにさせる病気。
- ③ ソーシャルメディア上で悪い行いをした人を罰する方法。
- ④ インターネット上で誰かについて有害なコメントやうそを書くこと。

正解 ⇒ ④

第2段落に「ネットいじめ」についての記述があり、「他人について否定的なコメントをしたり、うそをついたりすること」がいじめの内容であることがわかる。したがって、正解は④である。「ネットいじめ」が①の「人気のあるコミュニケーションの形態」や、②の「病気」であるという記述はないので、いずれも誤り。③は第2段落で言及されているが、これも「ネットいじめ」の定義ではないので誤り。

### 【語句・表現】

- ・ cyberbullying 「ネットいじめ」
- ・ note 「メモ」
- ・ appropriate 「適切な」
- ・ illness 「病気」
- ・ anxious 「不安な、心配な」
- ・ punish A for B 「AをBを理由に罰する」
- ・ behavior 「行い、行動」
- ・ social media 「ソーシャルメディア」
- ・ harmful 「有害な」
- ・ lie 「うそ」

問2 「ソーシャルメディアが若者のコミュニケーションスキルに与える影響に関する記事の中で言及されていないのは次のどれか」 45

- ① 彼らは他者と面と向かって話すのが得意ではない。
- ② 彼らは正しい文法を使うのに苦勞し始めている。



- ③ 彼らは単語の正しいつづりを覚えない。  
④ 彼らは他者の言うことが理解できないという問題に直面している。

正解 ⇒ ④

①～③は全て第4段落に記述がある。第4段落の最終文にある「若者の話す能力が弱くなっている」というのは「他者の言うことが理解できない」ということではないので、述べられていないのは④である。

【語句・表現】

- ・ effect 「影響, 効果」
- ・ in person 「面と向かって, 直々に」
- ・ have trouble (in) doing 「～するのに苦労する」
- ・ correct 「正しい」
- ・ grammar 「文法」
- ・ proper 「正しい, 適切な」
- ・ spell 「～をつづる」
- ・ face 「～に直面する」

問3 「あなたが読んだ記事によると、次のうちどれが正しいか」(二つ選びなさい。順序は問わない)

46

47

- ① 10歳未満の子どもが、ソーシャルメディアの影響を最も受けている。  
② 子どもたちは、ソーシャルメディア上で見る子どもたちと自分をしばしば比較する。  
③ ほとんどの若者は少なくとも一度はネットいじめを経験している。  
④ 睡眠障害は、ソーシャルメディアを毎日3時間を超えて使用することで生じる可能性がある。  
⑤ 若者の自信は、ソーシャルメディアの使用によって向上する傾向がある。

正解 ⇒ ②・④

自信の低下などの影響を強く受けるのは10歳から19歳までの子どもたちであるため、①は誤り。②については、第1段落に記述があり、子どもたちはソーシャルメディア上の他者と自分を比較するという記述があるので正解。第2段落の最終文に「若者の約27%」が少なくとも一度はネットいじめを経験していると記述があるので③は誤り。第3段落には睡眠障害を起こす可能性についての記述があるので、④は正解である。⑤の内容は言及されておらず、むしろ自信が低下すると書かれているため誤り。

【語句・表現】

- ・ influence 「～に影響を及ぼす」
- ・ compare A to B 「AとBを比較する」
- ・ experience 「～を経験する」
- ・ occur 「起こる」
- ・ confidence 「自信」
- ・ tend to do 「～する傾向がある」

問4 「筆者の要点を最もよく説明しているものは次のうちどれか」

48

- ① 筆者は、若者はソーシャルメディアの危険性について知る必要があると主張している。  
② 筆者は、若者がソーシャルメディアを使用するための安全な方法はないと主張している。  
③ 筆者は、ソーシャルメディアの使用制限はリスクを減少させないと述べている。

④ 筆者は、ソーシャルメディアは全ての若者に同じように影響を与えていると考えている。

正解 ⇒ ①

第5段落の第2文、However から始まる文章に筆者が特に強調したい内容が書かれている。したがって、正解は①である。②～④は、全て第5段落の内容と反することから、誤りである。

### 【語句・表現】

- ・ author 「筆者」
- ・ describe 「～について説明する・述べる」
- ・ claim (that) S V 「～と主張する」
- ・ danger of ～ 「～の危険 (性)」
- ・ insist (that) S V 「～と主張する」
- ・ state 「～と述べる」
- ・ limit on ～ 「～に対する制限」
- ・ decrease 「～を減少させる」
- ・ affect 「影響を及ぼす」

### 【全訳】

あなたはソーシャルメディアが若者のメンタルヘルスと発達に及ぼす影響について学んでいます。先生から次の記事を読んでおくように言われています。

ソーシャルメディアは多くの若者にとって現代の生活で重要性を持ち、友人とつながったり、現在行われている出来事や流行などの情報を入手したりするための場所を提供している。しかし、研究によると、ソーシャルメディアは若者の精神上的健康とその発達に悪影響を与える可能性がある。潜在的な悪影響の一つは、自信への影響である。ソーシャルメディアで他の人の話や写真を見ると、若者は自分が魅力的でも面白くもないと感じ、自信の低下につながる可能性がある。この影響は、自分に対する他者の意見をすでに気にしているであろう10歳から19歳までの子どもに特に強く及ぶ可能性がある。ある研究では、ソーシャルメディアにより多くの時間を費やしている若者は、自信が低く、自分の体型に満足していないと感じていることが示された。

インターネット上のいじめ、または「ネットいじめ」としばしば呼ばれるものも、若者にとって大きな問題になっている。ソーシャルメディアの普及により、人々は自分の悪い行動を罰せられることなく、他人について否定的なコメントをしたり、うそをついたりすることがはるかに簡単になった。これらのことは、彼らは通常いわれもなく、そのようなひどい扱いを受けるようなことは何もしなかったにもかかわらず、被害者の感情を傷つけるために行われる。ネットいじめは、極度の悲しみや不安など、若者に深刻な影響をもたらす可能性がある。ネットいじめ研究センターが実施した調査によると、13歳から19歳までの若者の約27%が、人生で少なくとも一度はネットいじめを経験している。

ソーシャルメディアは、若者の睡眠の質と量にも影響を与える可能性がある。研究によると、ソーシャルメディアの使用が多過ぎると、睡眠パターンが乱れ、倦怠感の増加とメンタルヘルスへの悪影響につながる可能性がある。ある研究では、ソーシャルメディアを1日3時間を超えて使用する若者は、使用が少ない若者よりも睡眠障害を起こす可能性が高いことがわかった。別の研究では、若者の60%が就寝前にスマートフォンをチェックし、そのことが毎晩平均1時間の睡眠を減らすことが示された。このことが、学校での成績や、友人、クラスメート、家族との関係など、若者の生活の他の領域に害を及ぼす可能性がある。

これらのメンタルヘルスの問題に加えて、ソーシャルメディアの使用は子どもたちのコミュニケーションスキルにも影響を与える可能性がある。ソーシャルメディアに書かれる文章の多くは正しい英語で書かれないため、若者は文法に問題を抱えるようになる。彼らはまた、単語の「too」を「2」という数字に置き換えたり、単語のスペルを変えたりするなど、文章をよりクールに見せることも好

む。しかし、このことが、子どもたちにそういった単語の正しいスペルを忘れさせる可能性がある。同様に、ソーシャルメディアに多くの時間を費やすことで、人と対面で話す時間が減る。その結果、若者の話す能力や他の社会的スキルが弱くなっている可能性がある。

全ての若者がソーシャルメディアの悪影響を経験するわけではなく、その影響は子どもによって大きく異なる可能性があることを覚えておくことが重要である。しかし、若者は、リスクを認識し、バランスの取れた健全な方法でソーシャルメディアを使用する必要がある。これには、毎日の使用に制限を設定すること、定期的な休憩を取ること、運動や趣味などの他の活動を行うことが含まれるであろう。

#### 【語句・表現】

- ・ mental health 「メンタルヘルス, 精神上の健康」
- ・ development 「発達」

〈第1段落〉

- ・ provide A with B 「AにBを供給する・整備する」
- ・ connect with ~ 「~とつながる」
- ・ stay informed 「情報をいつも入手している」
- ・ current 「今の」
- ・ trend 「トレンド, 流行」
- ・ negative 「マイナスの」
- ・ potential 「潜在的な」
- ・ consequence 「影響, 結果」
- ・ feel like ~ 「~のように感じる」
- ・ attractive 「魅力的な」
- ・ lead to ~ 「~に至る, ~を引き起こす」
- ・ decrease 「減少」
- ・ particularly 「特に」
- ・ be likely to do 「~しそうである, たぶん~するであろう」
- ・ satisfied 「満足して」: satisfy 「~を満足させる」という他動詞の過去分詞。

〈第2段落〉

- ・ bullying 「いじめ」
- ・ turn into ~ 「~になる」
- ・ issue 「問題」
- ・ with the spread of ~ 「~の普及にともない」
- ・ tell a lie 「うそをつく」
- ・ punishment 「罰」
- ・ hurt 「~を傷付ける」
- ・ victim 「犠牲者」
- ・ innocent 「無実の」
- ・ deserve 「~に値する」
- ・ terrible 「ひどい」
- ・ treatment 「扱い」
- ・ serious 「重大な, 深刻な」
- ・ extreme 「極度の」
- ・ sadness 「悲しみ」
- ・ anxiety 「不安」
- ・ survey 「調査」
- ・ conduct 「~を行う」
- ・ approximately 「およそ」

〈第3段落〉

- ・ affect 「～に影響を及ぼす」
- ・ ruin 「～をだめにする」
- ・ tiredness 「疲労」
- ・ per 「～ごとに」
- ・ cause 「～を引き起こす」
- ・ average 「平均」
- ・ harm 「～を傷付ける」
- ・ academic performance 「学業成績」
- ・ relationship 「関係」

〈第4段落〉

- ・ text 「メッセージ, 文章」
- ・ proper 「適切な」
- ・ replace A with B 「AをBに置き換える」
- ・ cool 「クールな」
- ・ spelling 「つづり, スペル」
- ・ likewise 「同様に」
- ・ face to face 「顔を合わせて, 面と向かって」

〈第5段落〉

- ・ vary from one ~ to another 「～によって異なる」
- ・ be aware of ~ 「～を知る」
- ・ balanced 「バランスの取れた」
- ・ set a limit on ~ 「～に制限を加える」
- ・ usage 「使用」
- ・ take a break 「休憩する」
- ・ exercise 「運動」
- ・ hobby 「趣味」